

種類	除湿形回転ドラム式電気衣類乾燥機	消費電力 (W)	室温	強	弱
電源	100V、50-60Hz共用		30℃	1100	640
標準乾燥容量	5.0kg (乾燥布重量)		20℃	1170	680
発熱方式	自己温度制御発熱体		5℃	1260	740
外形寸法	幅630mm×奥行506mm×高さ670mm (突出部を除く)	質量	26kg		

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

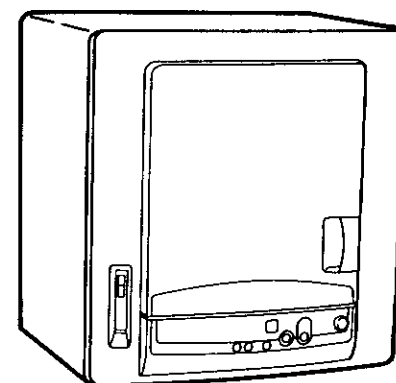
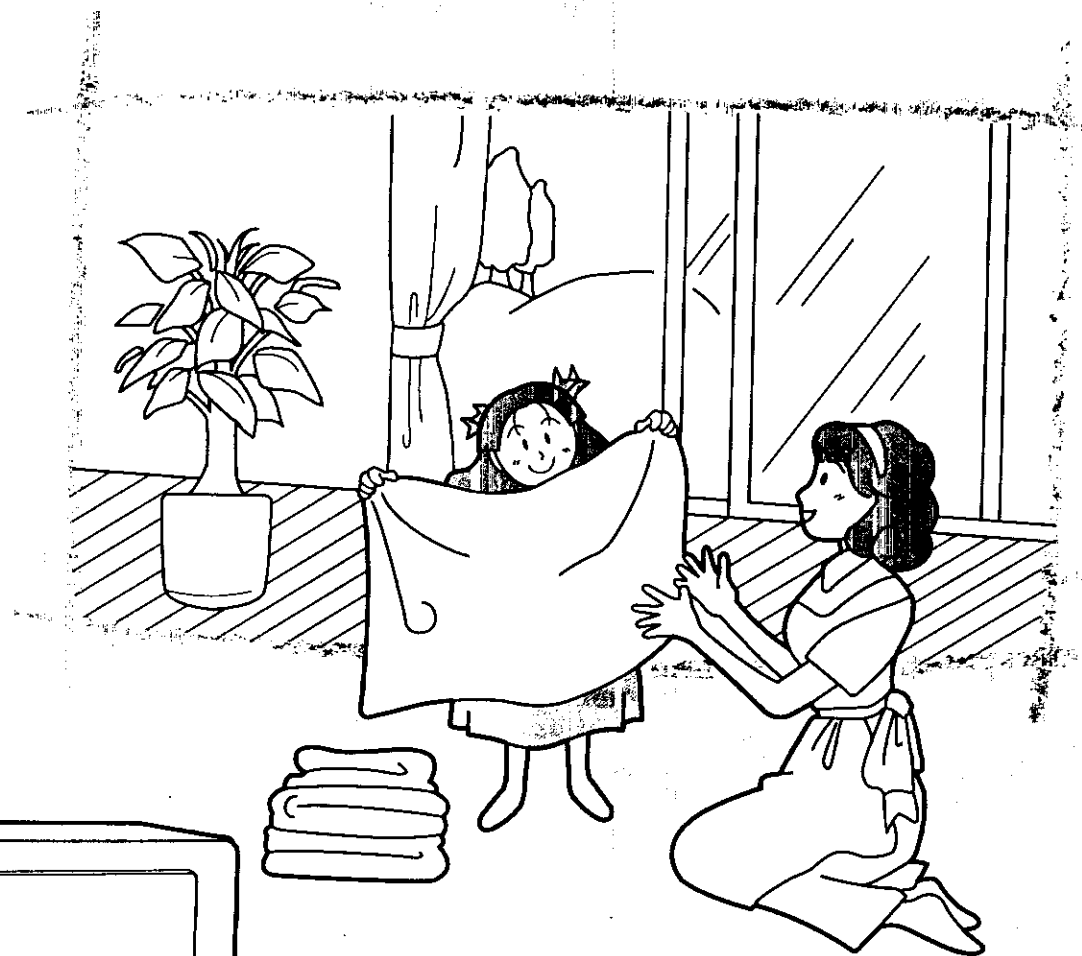
購入店名 _____ 電話 () _____

ご購入年月日 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

 株式会社 日立製作所

〒105 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03) 3502-2111

日立除湿形電気衣類乾燥機 DE-N5S3形



静粛前ドライ
あとは着るだけ

このたびは日立除湿形電気衣類乾燥機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書・ご相談窓口一覧表とともに大切に保存してください。

特長

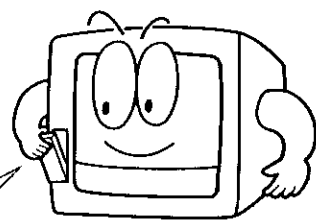
(☞ のあとの数字は主な説明のあるページです)

衣類の仕上げ乾燥時間を短縮

1 サッと仕上げボタン

☞ 12

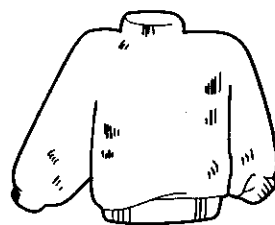
サッと仕上げハッチを開けてスタート



セーターなどが簡単に乾燥できる

2 「セーター」乾燥コース

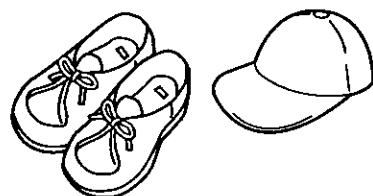
☞ 18



ズック、帽子などが簡単に乾燥できる

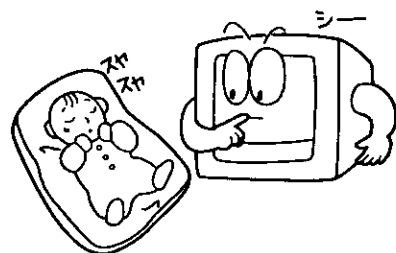
3 「ズック」乾燥コース

☞ 22



静かで清潔

4 クッションつき ステンレスドラム



もくじ

ご使用の前に

安全上のご注意	4
各部のなまえ	7
操作パネルのはたらき	8
乾燥時注意が必要な衣類について	10

運転コースの選びかた	10
吊り干した衣類を仕上げ乾燥する	12
洗濯機で脱水した衣類を乾燥する	14
毛布、肌掛ふとんを乾燥する	16
セーター、カーディガンなどを乾燥する	18
ズック、帽子などを乾燥する	22
乾燥量と時間の目安	26
ヒーター切換ボタンの使いかた	27
衣類の縮みについて	27
上手な乾燥のしかた	28

使用上のご注意	30
お手入れのしかた	31
据え付け	33
故障かなと思ったら	37
保証とアフターサービス	38
安全のための点検のお願い	39
別売り部品	39
仕様	40



ご使用の前に

使いかた

使用上のご注意・お手入れ・アフターサービス




安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



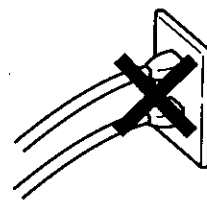

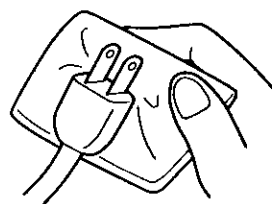

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。


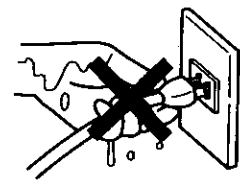



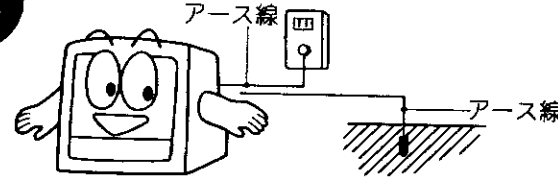

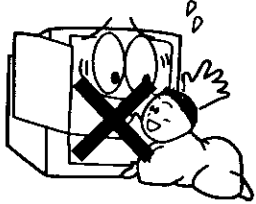


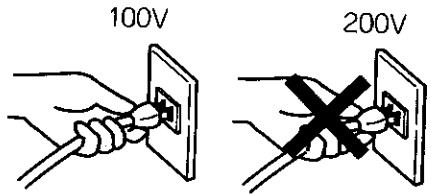


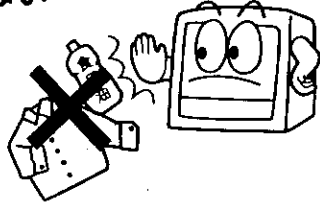
絵表示の例

	△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解や修理・改造の禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告

 <p>修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●発火したり、異常動作してけがをすることがあります。 	 <p>定格15A以上のコンセントを単独で使う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。 
 <p>電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよくふく</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火災の原因になります。 	 <p>浴室や風雨にさらされる場所など、湿気の多い場所には据え付けない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感電・火災・故障・変形の恐れがあります。

警告

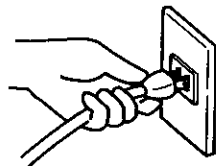
 <p>お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く また、ぬれた手で抜き差ししない</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●感電やけがをすることがあります。 	 <p>電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●感電・ショート・発火の原因になります。
 <p>アース線は必ず取り付ける</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。アースの取り付けは、必ず電気工事店または販売店にご相談ください。 	 <p>子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●やけど、感電、けがをすることがあります。
 <p>電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ひっぱったり、ねじったり、たばねたりしない また、重いものを載せたり、挟み込んだりしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 	 <p>交流100V以外では使用しない</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●火災・感電の原因になります。
 <p>動かなくなったり、異常がある場合は、事故防止のためすぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に、必ず点検・修理を依頼する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感電や漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。 	 <p>食用油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、ベンジンやシンナー、ガソリン、美容オイルなどの付着した衣類、ズック、帽子などは洗濯後でも絶対に乾燥しない また、スポンジの入ったものも絶対に乾燥しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●油などの酸化熱による自然発火や引火の恐れがあります。 

使用前の注意

安全上のご注意(続き)

注意

! 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く



• 感電やショートして発火することがあります。

! 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

• 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

! 運転が終わってから衣類、ズックなどを取り出す

• 乾燥中はドラム、衣類やズックなど、ドアの内側が高温になっており、やけどをする恐れがあります。



! スタンド(ユニット台)に載せて使用の際は、壁のすぐ前に設置し、鎖(スタンドに付属)にて壁や柱につないで、乾燥機本体はスタンド(ユニット台)にねじで固定するまた、据え付けた乾燥機にぶらさがらない

• 本体の落下によりけがをすることがあります。

! 本体やドラムに水をかけたり、水洗いをしない

• 感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります。

! しずくのたれるような衣類、ズックなどを入れない

• 感電の恐れがあります。

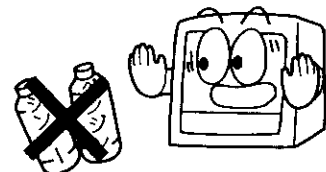


! 金属粉、金属片は衣類、ズックなどから取り除く

• 感電の恐れがあります。

! 運転中はベンジン、シンナー、ガソリンなどの引火物を近づけない

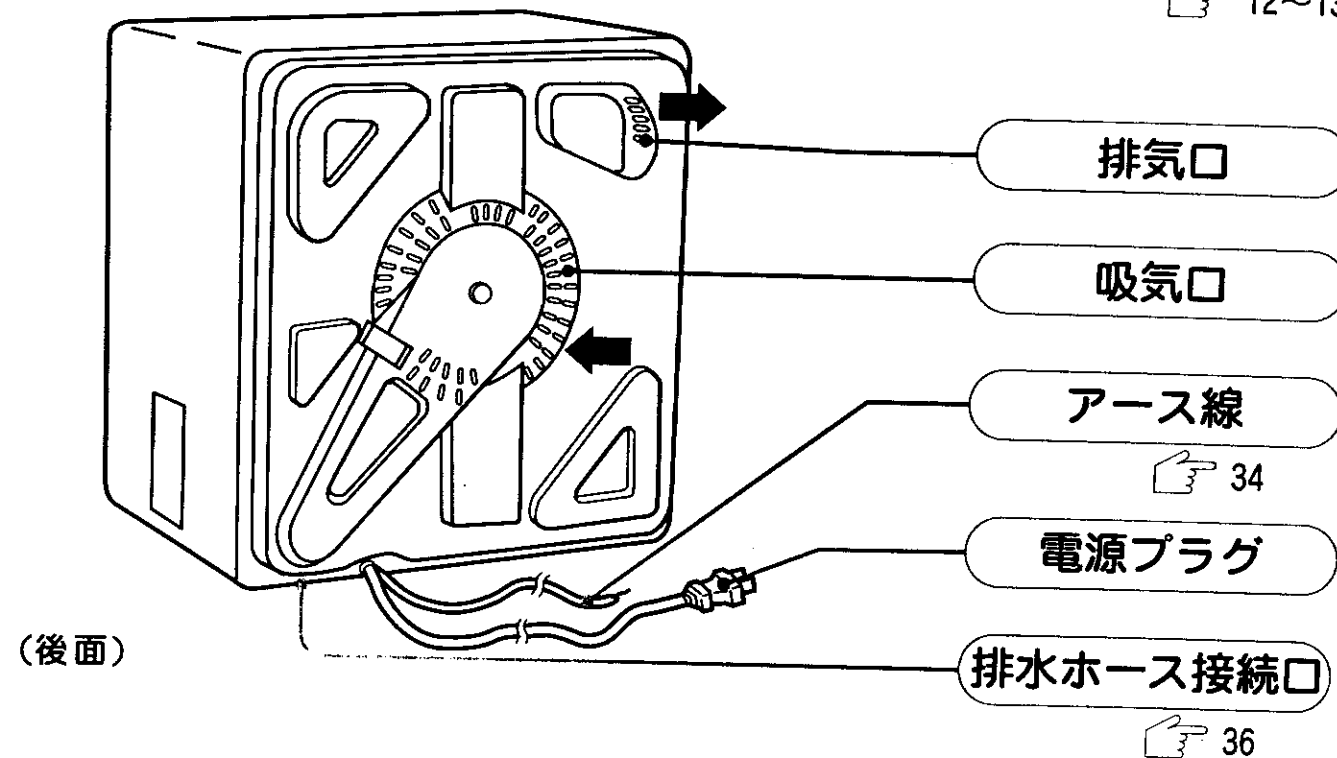
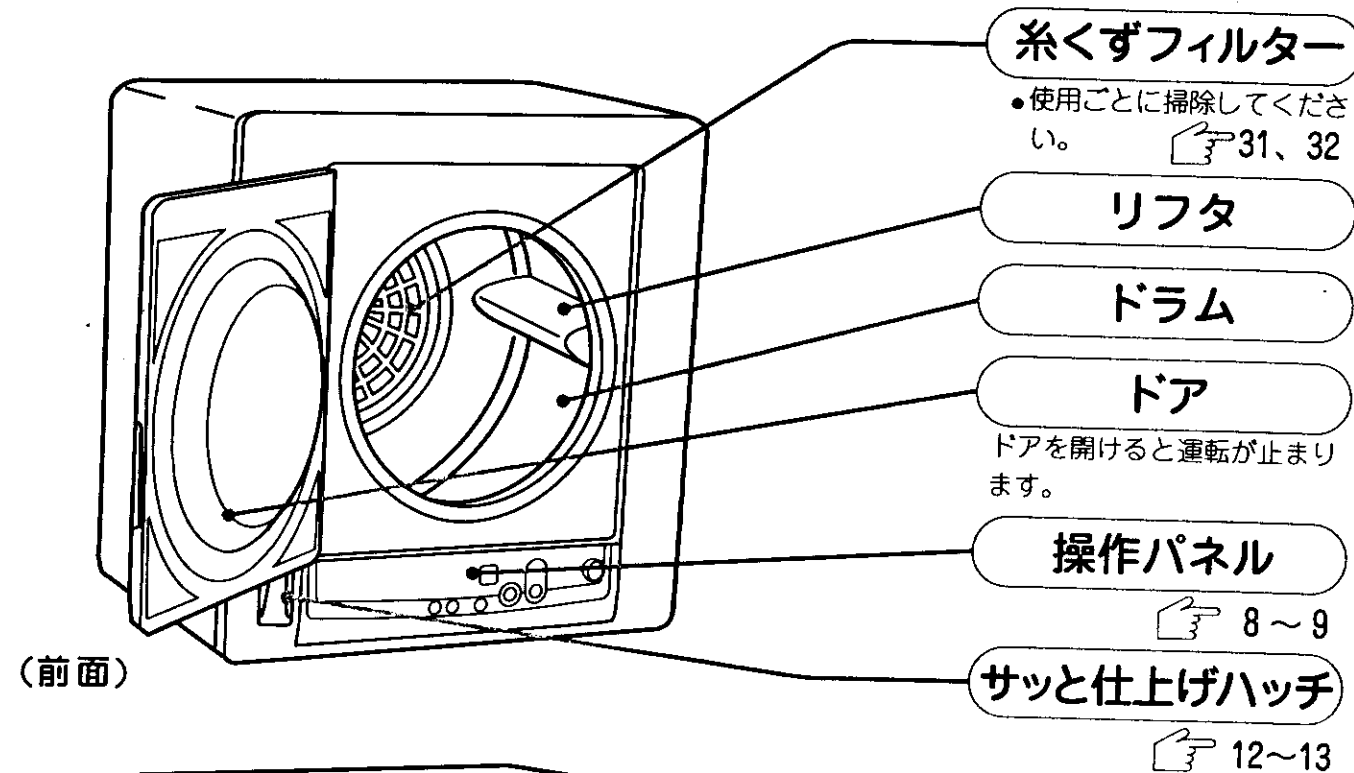
• 火災の原因になります。



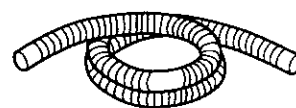
! ドラムの回転が止まってから衣類を取り出す

• 手・指が巻き込まれて、けがをしたり、高温の衣類が飛び出して火傷する恐れがあります。

各部のなまえ



付属品



排水ホース
(長さ約1.5m、1本)



ホースクランプ
(1個)



ホースクリップ
(1個)

操作パネルのはたらき

進行表示

乾燥の進み具合をランプの点滅でお知らせします。

- 運転を一時停止したとき、ドアを開けたときは点灯になります。

乾燥中■

あと10分□

- 湿度センサーが衣類の量および質を検知しながらの温風運転中。

乾燥中□

あと10分■

- 衣類や本体を冷ますための送風運転中。
- 「セーター(120分)」、「セーター(60分)」、「ズック」コースのときは、残り時間約5分で「あと10分」のランプが点滅します。

コース切替ボタン

6種類のコースが選べます。👉11

- ボタンを押すごとに、コースが切り換わります。
- 「除菌(75℃)」コースは自動的にヒーターの強さが「強」になります。
- 「毛布」コースは自動的にヒーターの強さが「弱」になります。
- 「セーター(120分)」、「セーター(60分)」、「ズック」コースは乾き具合に関係なく所定の時間運転します。またヒーターは自動的に「弱」に設定されます。
- 運転をスタートすると、コースの切り換えはできません。

終了ブザーを鳴らしたくないときは

運転していない状態で、スタートボタン(「コース」、「サッと仕上げ」どちらか)を3秒以上押すと終了ブザーは鳴りません。運転していない状態で、再び3秒以上押すと、元どおり鳴ります。

「コース」スタート/一時停止ボタン

洗濯機で脱水した衣類をコース切替ボタンで選んだコースで運転するときや一時停止させるときに使用します。👉14

- 仕上げハッチは閉じて運転してください。仕上げハッチの側面に結露し、しずくがたれる場合があります。また、狭い部屋の場合などは、壁や窓に結露したり、温風で室温が上昇したりします。
- 運転途中でドアを開けたときは運転が止まります。「コース」スタートボタンを押して運転し直してください。
- 「セーター(120分)」、「セーター(60分)」、「ズック」コースを選択したときは運転開始時に受付音が2回鳴ります。(一時停止で再スタートしたときは1回鳴ります)

終了ブザーは、運転が止まってしばらく(15秒以内)たってから鳴りだします。

「サッと仕上げ」スタート/一時停止ボタン

吊り干し後の生乾きや、しめっぽい衣類を仕上げ乾燥するときや、一時停止させるときに使用します。👉12

- 仕上げハッチは開いて運転してください。
- 運転途中でドアを開けたときは運転が止まります。「サッと仕上げ」スタートボタンを押して運転し直してください。

進行表示

乾燥中□

あと10分□

- フィルター目詰まり□

ふんわりガード

ヒーター

■ 強

□ 弱

コース

セーター(120分)

セーター(60分)

□

除菌(75℃)

□

毛布

□

ズック

これっきりボタン

■ サッと仕上げ

スタート/一時停止

■ コース

スタート/一時停止

電源切/入

フィルター目詰まりサイン

フィルターの目詰まりをランプの点滅でお知らせします。

- ランプが点滅したときは、必ずフィルターを掃除してください。👉31, 32
- ランプが点滅中にドアを開けると、5秒間ブザーが鳴り、ランプが点滅します。
- 「セーター(120分)」、「セーター(60分)」、「ズック」コースのときは動きません。

フィルター目詰まり■

ふんわりガードボタン

「ふんわりガード」は、乾燥が終了して2時間の間、約5分ごとに12秒の送風運転を繰り返して、衣類のふんわり感を保つ機能です。👉15

- 「セーター(120分)」、「セーター(60分)」、「ズック」コースのときは、ふんわりガード運転は行いません。

運転を省きたいときは

「ふんわりガード」ボタンを押して、ランプを消します。

ヒーター切替ボタン

ボタンを押すごとに、ヒーターの強さが切り換わります。👉27

- 「強」、「弱」のランプが消えているときは、送風運転になります。
- 運転をスタートすると、途中でヒーターの切り換えはできません。

電源スイッチ

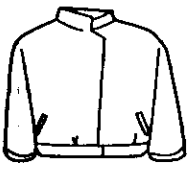
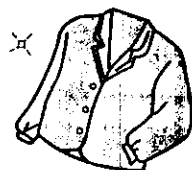

スイッチを押すと「入」になります。

- 「乾燥」運転または「ふんわりガード」運転が終わったときや、「入」のままにしておくと、5分後に自動的に電源が切れます。(オートオフ機能)
 - フィルター目詰まりサインのランプが点滅しているときは、12時間後まで切れません。
 - 「入」にしたとき、フィルター目詰まりサインのランプが点滅しブザーが鳴った場合は、フィルターが目詰まりしていないか再度確認してください。👉31, 32
- 前回ご使用時にフィルターが目詰まりした場合、掃除しても電源スイッチを「入」にしたとき、再度確認のためフィルター目詰まりサインのランプが点滅し、ブザーが鳴ります。

- コースの標準、「ヒーター」の強、「ふんわりガード」の運転有りを設定したとき2回続けて受け付け音がします。(ランプの基準点をお知らせするためです)

乾燥時注意が必要な衣類について

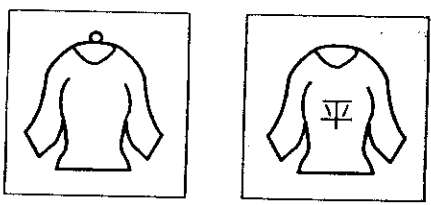
乾燥してはいけないもの

<p>皮製品</p>  <p>• 縮みが大きくなったり形くずれの恐れがあります。</p>	<p>絹の衣類</p> 	<p>のり付けした衣類</p>  <p>• 糸くずフィルターの目詰まりの原因になります。</p>
---	---	--

「セーター(120分)」「セーター(60分)」コースを使えば乾燥できるもの

下記のもの「セーター(120分)」「セーター(60分)」コースで運転してください。👉18

• 「セーター(120分)」「セーター(60分)」コースを使用しないで、「標準」「除菌(75℃)」「毛布」「サッと仕上げ」コースで乾燥すると衣類の縮みが大きくなったり、傷んだりする恐れがあります。

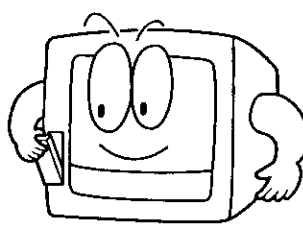
<p>吊り干し、平干し表示のあるもの</p> 	<p>「タンブラー乾燥禁止」表示のあるもの</p> <p>「タンブラー乾燥」とは回転ドラム式乾燥機で乾燥することです。</p>
---	---

• 素材によっては乾燥できないものもあります。(乾燥の前に確認してください)👉18


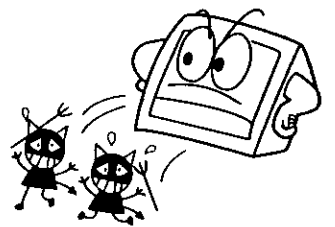
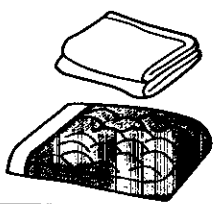

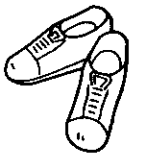
運転コースの選びかた

サッと仕上げボタンでの乾燥

サッと仕上げ運転専用ボタンです。コース切替ボタンでの運転をするときは「コース」スタートボタンでスタートしてください。

<p>吊り干し後の生乾きやしめっぽい衣類を仕上げ乾燥するとき</p> <p>衣類をスピーディに仕上げ乾燥し、電気代も節約できます。</p> <p>• 仕上げハッチを開いて運転してください。閉じて運転すると乾燥時間が長くなる場合があります。</p>	 <p>👉12</p>
---	---

「コース」スタートボタンでの乾燥

<h3>標準</h3>	<p>普通に乾燥するとき</p> <p>普通の衣類、厚物・薄物衣類などの乾燥に使います。</p> <p>• 衣類の質と量を検知して、乾燥します。</p> 	<p>👉14</p>
<h3>除菌 (75℃)</h3>	<p>洗濯物の除菌効果を高めたいとき</p> <p>乾燥時の温風運転を長くして、洗濯物の除菌効果を高めます。(ダニ・大腸菌など)</p> <p>• ヒーターは自動的に「強」になります。</p>  <p>• 衣類の種類により、縮みが大きくなる場合があります。</p> <p>• 室温が約5℃以下のときは、自動的にヒーター「弱」で運転され除菌効果が低下することがあります。</p>	<p>👉14</p>
<h3>毛布</h3>	<p>毛布・肌掛ふとんを乾燥するとき</p> <p>• ヒーターは自動的に「弱」になります。</p> 	<p>👉16</p>
<h3>「セーター (120分)」 「セーター (60分)」</h3>	<p>セーターやカーディガンなどを乾燥するとき</p> <p>• 乾き具合に関係なく約120分間運転します。(「セーター(60分)」のときは約60分間運転)</p> <p>• 乾燥できる重さの目安</p> <p>「セーター(120分)」コース1回の場合 …約250g程度のセーター、カーディガンなど</p> <p>「セーター(60分)」コース1回の場合 …約120g程度の子供用のセーターなど</p> <p>• ヒーターは自動的に「弱」になります。</p>  <p>• 運転終了後、洗濯物を入れたままにしないでください。しわの原因になります。</p>	<p>👉18</p>
<h3>ズック</h3>	<p>ズックなどを乾燥するとき</p> <p>「ズック」コースを選択すると、ズック、帽子、スリッパなども乾燥できます。</p> <p>• 乾き具合に関係なく約120分間運転します。</p> <p>• ヒーターは自動的に「弱」になります。</p>  <p>• 熱に弱いプラスチックや皮製品は乾燥しないでください。</p> <p>• 乾燥できないズックもありますので乾燥の前によく確認してください。</p>	<p>👉22</p>

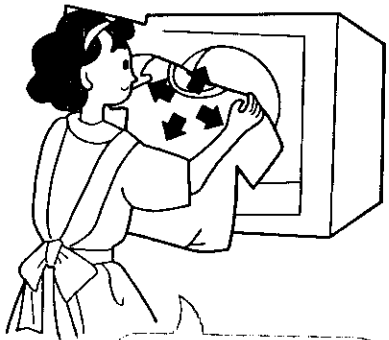
ご使用の前に

使いかた

吊り干しした衣類を仕上げ乾燥する（「サッと仕上げ」コース）

吊り干し後の生乾きやしめっぽい衣類を仕上げ乾燥するとき

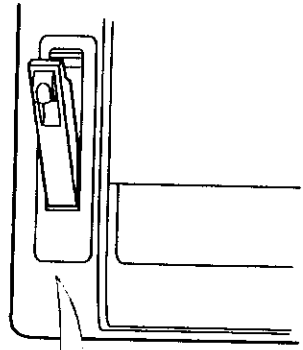
1 洗濯物をドラムに入れ、ドアを閉じる



1枚ずつよくひろげて！

- ドアに洗濯物をはさまないでください。
- ライターやマッチなどの抜き忘れがないか確認してください。

2 仕上げハッチを開ける



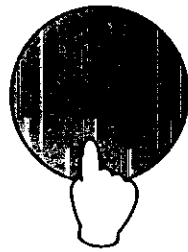
仕上げハッチを開ける

- 乾燥終了後すぐ着替えるなど衣類をあたためた状態で乾燥終了させたいときは、仕上げハッチを閉めたままご使用ください。ただし、仕上げハッチを閉めて運転すると乾燥時間が長くなります。
- 仕上げハッチに無理な力を加えないでください。

3 電源スイッチを入れる

「標準」コース、ヒーター「強」「ふんわりガード」の3つが自動的にセットされ、ランプが点灯します。

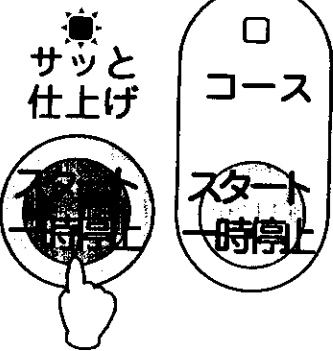
電源切/入



4 スタートボタンを押す

運転が始まり、乾いたら終了ブザーが12秒間鳴り、乾燥終了をお知らせします。

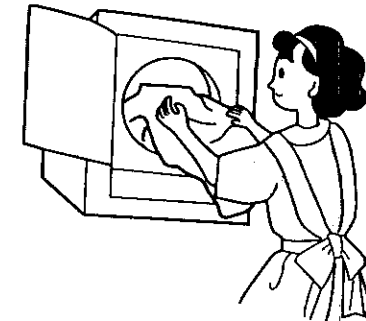
これっきりボタン



- 運転途中にドアを開けると、ブザーが鳴り、本体や衣類が熱いことをお知らせします。
- 衣類は運転が終わってから取り出すようにしてください。

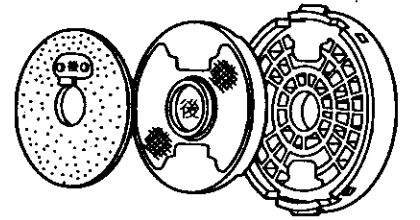
5 乾燥が終わったら衣類を取り出す

終了ブザーが鳴ったあとは、自動的に「ふんわりガード」運転に入ります。「ふんわりガード」運転中は、いつでも衣類を取り出せます。静電気が気になるときは 28



- 仕上げハッチは運転終了後閉めてください。

後始末



糸くずフィルターを掃除する。 31、32

- 仕上げハッチの内側のフィルターにごみが詰まったときは、掃除機などで取り除いてください。

注意

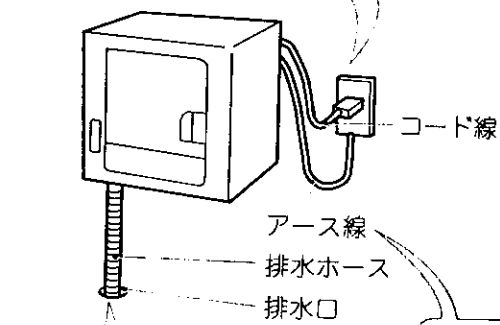
- 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
- 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

使いた

乾燥を始める前に

- 1 アース線を取り付ける。 34
- 2 排水ホースを排水口に差し込む。 36
- 3 電源プラグをコンセントに差し込む。

電源プラグをコンセントに差し込む。



排水ホースを排水口に差し込む。

アース線を取り付ける。

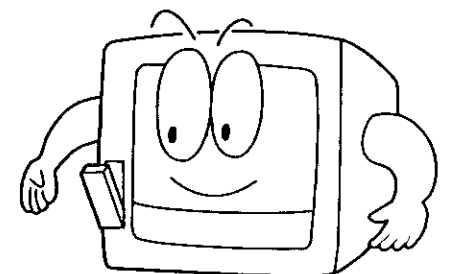
警告

- 定格15A以上のコンセントを単独で使う。
- 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常加熱して発火することがあります。

「サッと仕上げ」コースって？

ドラム内の空気を、外の乾いた空気と入れ換えながら効率よく運転するので早く乾きます。

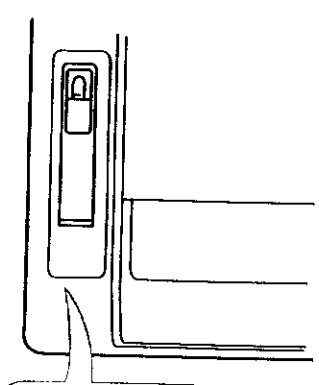
- 洗濯機で脱水した衣類をそのまま乾燥するときは仕上げハッチを閉じて「標準」コース(14)で運転してください。湿気の排出量が増えて窓などに結露することがあります。
- 仕上げハッチを開けると温風が吹き出します。顔などを近づけないでください。



洗濯機で脱水した衣類を乾燥する（「標準」、「除菌(75℃)」コース）

普通の衣類、厚物、薄物の衣類などを乾燥するとき

準備



仕上げハッチを閉じる

- 仕上げハッチは閉じて運転してください。仕上げハッチを開けて運転すると仕上げハッチの側面に結露し、しずくがたれる場合があります。また、狭い部屋の場合などは、壁や窓に結露したり、温風で室温が上昇したりします。

1 洗濯物をドラムに入れ、ドアを閉じる




1枚ずつよくひろげて!

- ドアに洗濯物をはさまないでください。また、ドアや仕上げハッチに無理な力を加えないでください。
- ライターやマッチなどの抜き忘れがないか確認してください。
- 洗濯物は1枚ずつ広げてください。

2 電源スイッチを入れる

「標準」コース、ヒーター「強」「ふんわりガード」の3つが自動的にセットされ、ランプが点灯します。

電源切/入

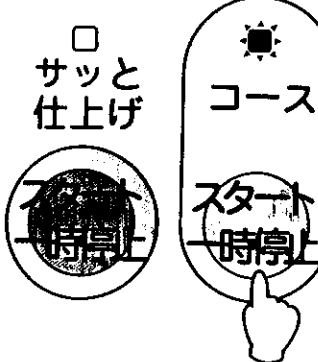


- 「除菌(75℃)」コースを運転するときは、コース切換ボタンを押して「除菌(75℃)」コースに切り換えてください。

3 スタートボタンを押す

運転が始まり、乾いたら終了ブザーが12秒間鳴り、乾燥終了をお知らせします。

これっきりボタン



- 運転中にドアを開けると、ブザーが鳴り、本体や衣類が熱いことをお知らせします。
- 衣類は運転が終わってから取り出してください。

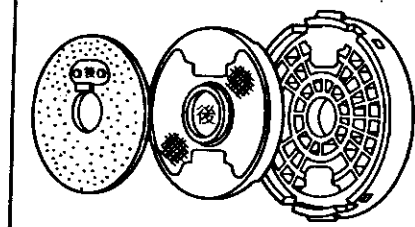
●除菌(75℃)コースでも衣類の量が多いときなど条件によっては、75℃まで温度が上がらない場合もあります。

4 乾燥が終わったら衣類を取り出す

終了ブザーが鳴ったあとは、自動的に「ふんわりガード」運転に入ります。「ふんわりガード」運転中は、いつでも衣類を取り出せます。静電気が気になるときは 28



後始末



糸くずフィルターを掃除する。 31、32

注意

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

- 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

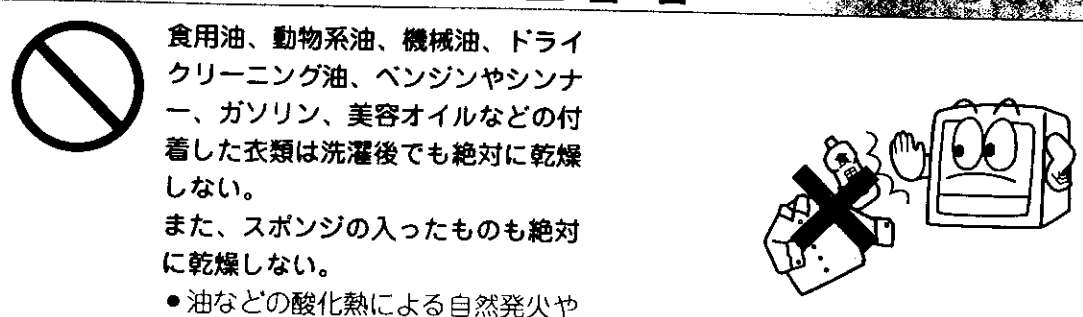
使いかた

洗濯物を入れる前に

警告

食用油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、ベンジンやシンナー、ガソリン、美容オイルなどの付着した衣類は洗濯後も絶対に乾燥しない。また、スポンジの入ったものも絶対に乾燥しない。

- 油などの酸化熱による自然発火や引火の恐れがあります。

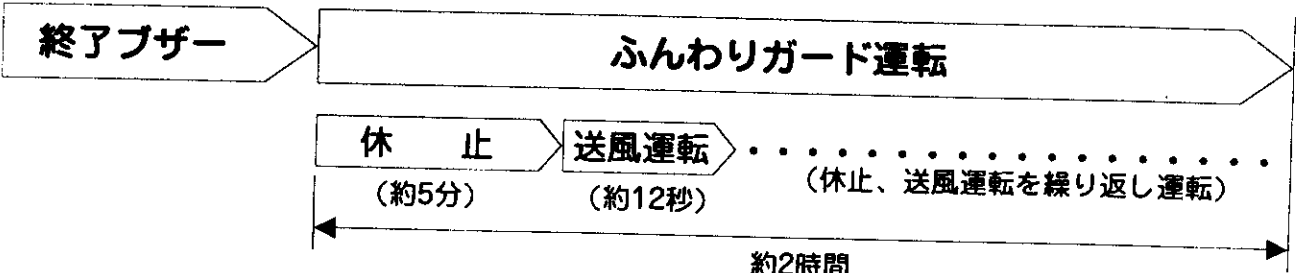


- 洗濯後でも油が残り、油の酸化熱による自然発火や引火の恐れがあります。また、プラスチック部品の変形などの故障の恐れがあります。

ふんわりガード運転について

「セーター(120分)」、「セーター(60分)」、「ズック」コースのときは、ふんわりガード運転は行いません。

終了ブザーが鳴り終わったら、自動的に「ふんわりガード」運転に入ります。（「ふんわりガード」のランプが点滅します）



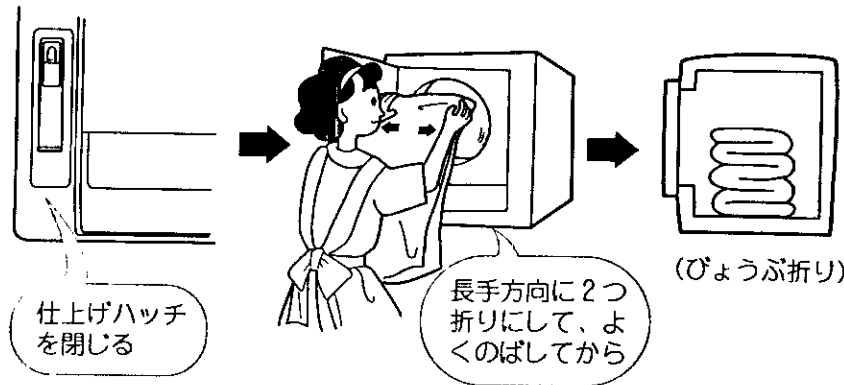
「ふんわりガード」運転中にドアを開けると、運転は終了します。

毛布、肌掛ふとんを乾燥する(「毛布」コース)

毛布、肌掛ふとんを乾燥するとき

1 毛布または肌掛ふとんをドラムに入れ ドアを閉じる

毛布または肌掛ふとんを2つ折りにし、びょうぶ折り状態にしてドラムに入れます。



お願い

- 毛布または肌掛ふとんの洗濯時には、静電気の発生を防ぐため「ソフト仕上げ剤」を使い、脱水は十分に行ってください。
- 毛布、肌掛ふとんは、ねじったり丸めて入れないでください。しわになる恐れがあります。

2 電源スイッチを入れる

スタート/一時停止ボタンのランプが点灯し、「標準」コース、ヒーター「強」、「ふんわりガード」の3つが自動的にセットされ、ランプが点灯します。

電源
切/入



3 「毛布」コースを選ぶ

ヒーターは自動的に「弱」になります。

コース

- 標準
- 除菌 (75℃)
- 毛布
- セーター (120分)
- セーター (60分)
- ズック



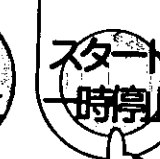
4 スタートボタンを押す

約2~3時間かかります。(時間は毛布、肌掛ふとんの状態により変わります)

これっきりボタン

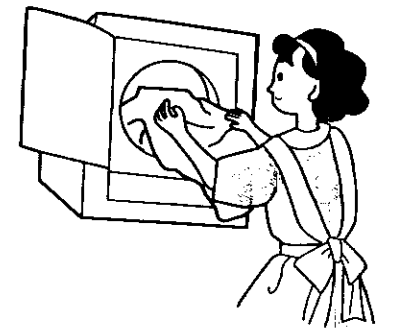
サッと仕上げ

コース



乾燥が終わったら

早めに取り出してください。新しい毛布の場合、少し毛が抜けてフィルターにたまる場合がありますが、毛布のむだ毛です。



- 糸くずフィルターの掃除も忘れないでください。▶ 31、32

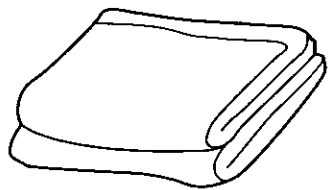
使いかた

乾燥できる毛布・肌掛ふとんの種類と重さ

毛布

手洗いと表示された、アクリル、またはポリエステル100%のシングルサイズのもの。

- 種類：マイヤー毛布、織毛物
- 1枚の重さ：3.0kg以下

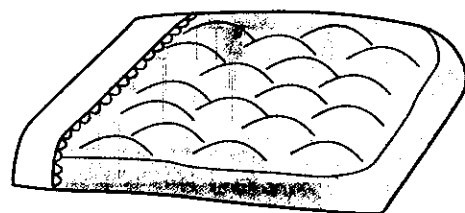


- 電気毛布は絶対に乾燥しないでください。
- 毛足が10mm以上のものは乾燥しないでください。

肌掛ふとん

手洗いと表示された中わたがアクリル、またはポリエステル100%のシングルサイズのもの。

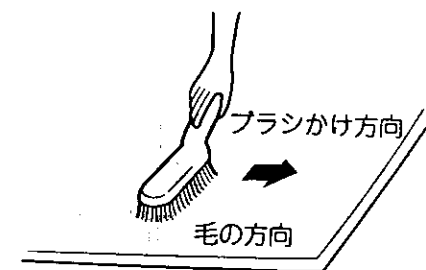
- 大きさ：150cm×210cm以下
- 中わた重量：0.6kg以下



上手に仕上げるためのちょっとアドバイス

毛布

- 乾きが足りないときは、反対側に2つ折りにして、もう一度乾かしてください。
- 毛布は乾燥後、毛布用ブラシで一定方向に軽くブラッシングして、毛並みを整えます。



肌掛ふとん

- 乾きが足りないときは、反対側に2つ折りにして、もう一度乾かしてください。
- 反対に折り返すときは、ふとんを両側からつまんでほぐすと、ふっくらと仕上がります。



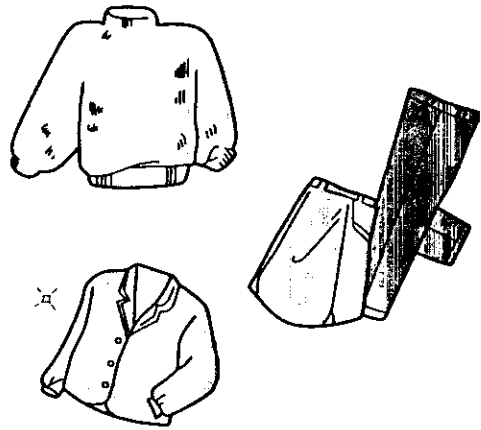
セーター、カーディガンなどを乾燥する(「セーター(120分)」 「セーター(60分)」乾燥コース)

いままで乾燥機でタンブラー乾燥できなかったセーターやカーディガンなどの衣類をドラム停止による乾燥と乾きムラを少なくするための短時間ドラム回転乾燥の組み合わせにより、簡単操作でやさしく乾燥します。ただし素材によっては乾燥できないものもありますので、乾燥の前に確認してください。(コースの内容はP.20)

乾燥できるもの、できないものの確認

乾燥できるもの

- ウール、アンゴラ、カシミアなどのセーター、カーディガン
- ウール、ウール混紡のスカートやスラックス
- 麻、ポリエステルなどのブラウス、シャツ、スカート



- 乾燥できる衣類の量は1枚です。
- 約400g以上の大物は乾燥しないでください。

乾燥できないもの

- 皮革製品、皮革装飾品
- 装飾品(羽、毛皮など)のついた衣料
- レーヨン、キュブラおよびその混紡品
- 和服、和装小物
- ネクタイ、スーツ、コート
- コーティング加工、樹脂加工(接着剤を使用したもの)、エンボス加工(凹凸模様)をしたもの
- 絹の衣類
- ウールなどで強くよじった糸(強撚糸)を使用したもの(特に織り柄)
- ベルベット、コール天などのパイル地

●取扱絵表示および素材表示のないものは、クリーニングに出すことをお勧めします。

乾燥できる重さの目安

「セーター(120分)」コース1回で乾燥できる重さの目安

約250g程度のセーター、カーディガンなど

「セーター(60分)」コース1回で乾燥できる重さの目安

約120g程度の子供用のセーターなど

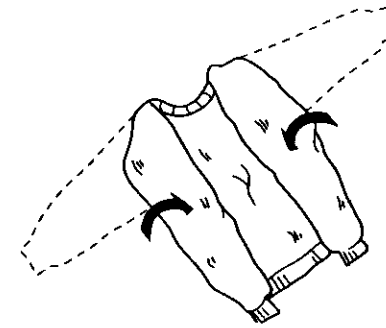
- 「セーター(60分)」コースは「セーター(120分)」コースで乾燥しきれなかった場合の追加乾燥に使用すると便利です。

- セーターなどのおしゃれ着は、衣類の編みかたや素材によっては洗濯機で洗濯したあと縮んでいる場合があります。そのまま乾燥機にセットして「セーター」コースで乾燥するとさらに縮みが大きくなる場合があります。洗濯後の縮みが大きい場合には乾燥機での乾燥は避けてください。

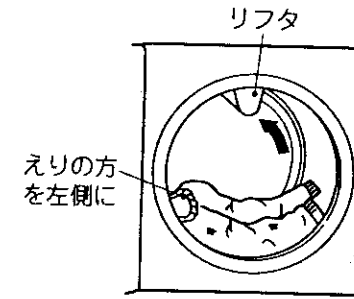
衣類のセットのしかた セーター、カーディガンのとき

- 「セーター(120分)」、「セーター(60分)」コースでは、運転の最後の方でドラムが回転しますので、ズック・帽子などのドラム回転で傷む恐れのあるものは乾燥しないでください。(ズック、帽子などは「ズック」コース(P.22)を使用してください)

1 そでの部分を図のように折り返して畳む。



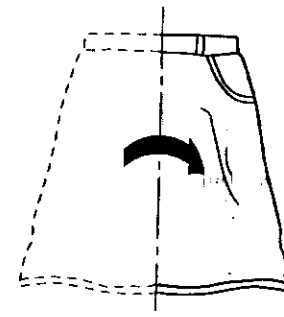
2 えりの方を左側に向けてドラム内にセットする。(温風はドラムの左側の方から出ています)



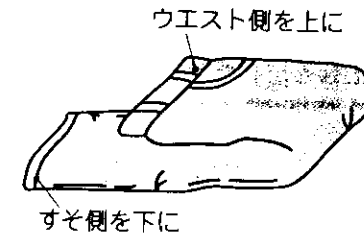
- リフタが下部にあって衣類が入りにくいときは矢印の方向にリフタを手で押してドラムを回転させて、リフタを上部へ移動させてください。

スカートするとき

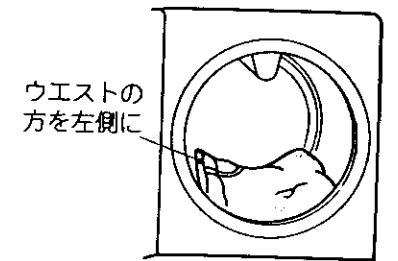
1 幅の広いスカートのときは下図のように縦方向に2つ折りにして畳む。



2 ロングスカートのときはウエストのある方を上側にして2つ折りにする。重なる部分をできるだけ少なくする。



3 ウエストの方を左側に向けてドラム内にセットする。

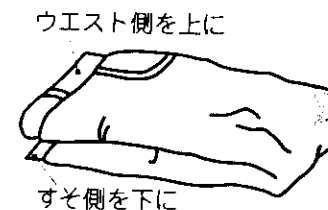


スラックスのとき

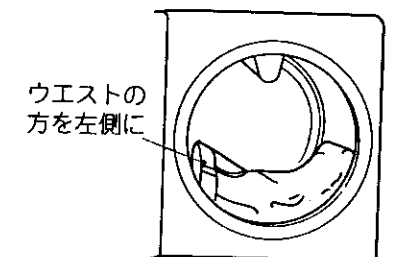
1 おしりの継ぎ合わせ部分が折り目になるよう2つ折りにして畳む。



2 ウエストとポケットのある方を上側にして、2つ折りにする。




3 ウエストの方を左側に向けてドラム内にセットする。

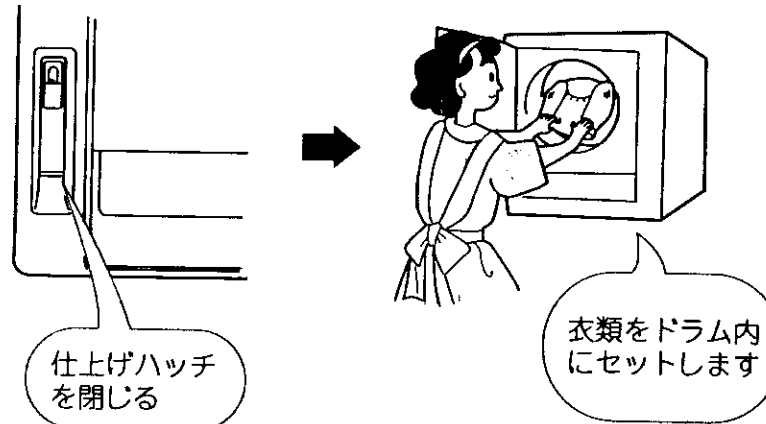


使いかた

セーター、カーディガンなどを乾燥する(「セーター(120分)」 「セーター(60分)」乾燥コース)(続き)

1 ドラム内に衣類をセットしてドアを閉じる

衣類はきちんとたたんでからドラム内にセットします。  19



お願い

- 衣類は脱水を十分に行ってからドラム内にセットしてください。
- 衣類は丸めて入れないでください。しわになる恐れがあります。

2 電源スイッチを入れる

スタート/一時停止ボタンのランプが点灯し、「標準」コース、ヒーター「強」、「ふんわりガード」の3つが自動的にセットされ、ランプが点灯します。

電源
切/入



3 「セーター(120分)」(または「セーター(60分)」)コースを選ぶ

ヒーターは自動的に「弱」になります。

コース

- 標準
- 除菌 (75℃)
- 毛布
- セーター (120分)
- セーター (60分)
- ズック



4 スタートボタンを押す

乾き具合に関係なく約120分間運転します。
 (「セーター(60分)」コースを選んだ場合は、約60分間運転します)
 「セーター(120分)」 「セーター(60分)」コースのときは運転開始時に受付音が2度鳴ります。
 (一時停止で再スタートしたときは1回鳴ります)

これっきりボタン

サッと仕上げ

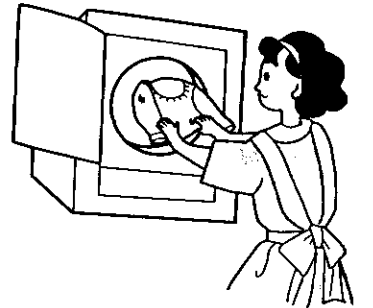


コース



乾燥が終わったら

早めに取り出してください。



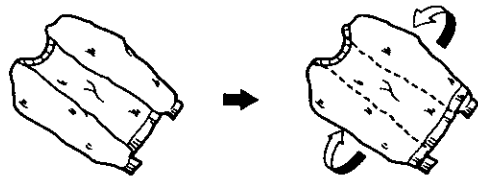
- 乾燥後ドラム内や衣類投入口に糸くずがつくことがあります。これは衣類のむだ毛が取れたものです。掃除機などで取り除いてください。
- 乾きが足りないときは「セーター(60分)」または「セーター(120分)」コースにしてもう一度運転するか、アイロンで仕上げてください。

使いかた

上手に仕上げるためのちょっとアドバイス

乾きが足りないとき

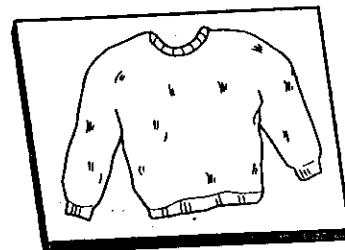
- そでの部分を最初と反対側に重ねて「セーター(60分)」または「セーター(120分)」コースでもう一度乾かしてください。



- スカートやスラックスなども反対側に重ねて「セーター(60分)」または「セーター(120分)」コースでもう一度乾かしてください。

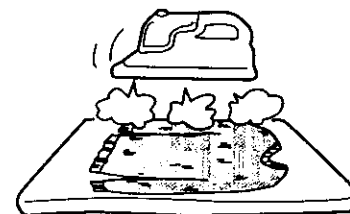
ちょっと乾きが足りないとき

セーターの襟元など、ちょっとだけ乾きが足りないときは、広げて陰干しにする方法もあります。



仕上げ(縮みや形くずれしてしまったときの直しかた)

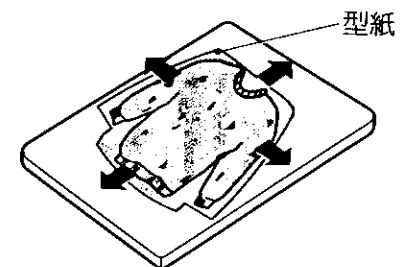
スチームアイロンを軽く浮かせてスチームをかけ、形を整えます。



- スチームが直接手に当たると火傷する恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。

スチームをたっぷりあてたあと、型紙に合わせて元の形までひっぱり、形を整えます。

- 洗濯前に型紙をとっておくと便利です。



ズック、帽子などを乾燥する (「ズック」乾燥コース)

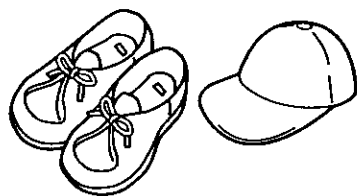
いままで乾燥機でタンブラー乾燥できなかったズックや帽子などの小物をドラム停止による温風乾燥で簡単操作でやさしく乾燥します。

ただし素材によっては乾燥できないものもありますので、乾燥の前に十分確認してください。

乾燥できるもの、できないものの確認

乾燥できるもの

- ズック
- スリッパ
- 綿、ウールなどの帽子
- ポリエステルなどのぬいぐるみ(約160g程度)



●乾燥できるズック、帽子などは1足(または1個)です。

●乾燥に際しては、ズックや帽子などの注意書きに従って乾燥してください。

乾燥できないもの

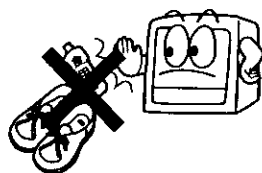
- 皮靴、皮革製品、皮革装飾品
- 靴の表示(注意書き)に下記のような記載のあるもの
(例)
・直射日光、ストーブなどでの乾燥はさけてください
- 特殊な機能や素材を使用しているもの
(例)
・靴底などに特殊ガスなどを封入しているもの
・ズックの熱に弱いウレタン製の中敷など
・ランプ付きの靴

ズック、帽子などを入れる前に

警告

食用油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、ベンジンやシンナー、ガソリン、美容オイルなどの付着したズック、帽子などは洗濯後でも絶対に乾燥しない
また、スポンジの入ったものも絶対に乾燥しない

●油などの酸化熱による自然発火や引火の恐れがあります。



注意

しずくのたれるようなズック、帽子などを入れない

●感電の恐れがあります。

●金属粉、金属片はズック、帽子などから取り除く

●感電の恐れがあります。



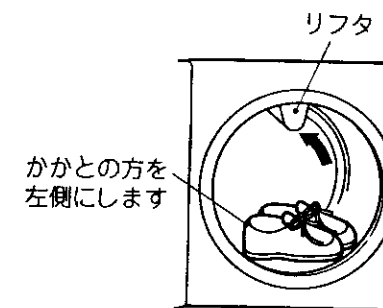
(「ズック」乾燥コース)

●「ズック」コースでは、運転中ドラムは回転しませんのでセーターなどのおしゃれ着を乾燥すると乾きむらを生ずることがあります。(セーターなどは「セーター(120分)」 「セーター(60分)」コース(▶18)を使用してください)

乾燥物のセットのしかた くつするとき

1 乾燥の前に水分を十分に切っておく。

2 ドラム内にズックを下図のようにセットする。

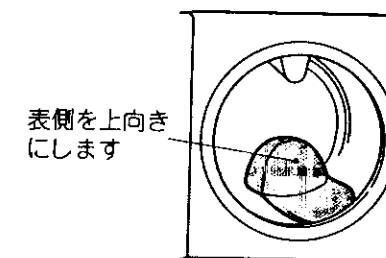


●リフタが下部にあってズックを入れにくいときは矢印の方向にリフタを手で押してドラムを回転させて、リフタを上部へ移動させてください。

帽子のとき

1 乾燥の前に水分を十分に切っておく。

2 ドラム内に帽子を下図のようにセットする。

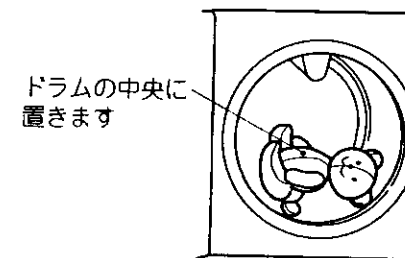


●帽子の種類によっては型くずれしやすいものもあり、帽子の内側に乾いたタオルを入れて形を整えてから乾燥機に入れることをお勧めします。

ぬいぐるみのとき

1 乾燥の前に水分を十分に切っておく。

2 ドラム内にぬいぐるみを下図のようにセットする。




●装飾品は熱に弱いものがありますので取り外して乾燥してください。

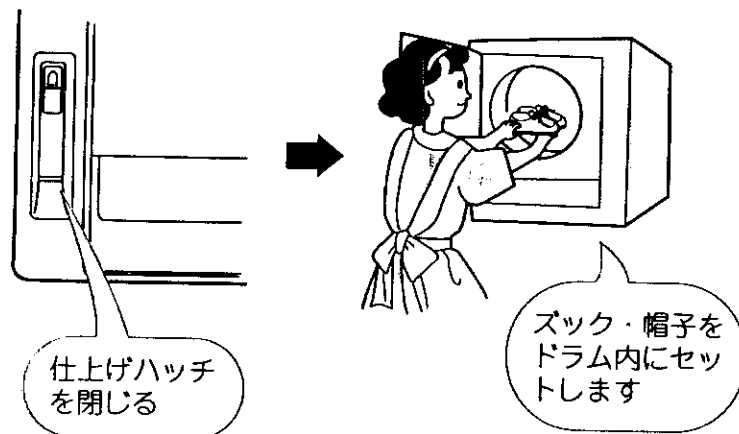
使いかた

ズック、帽子などを乾燥する

(「ズック」乾燥コース)(続き)

1 ズック、帽子をドラム内にセットしてドアを閉じる

ズック、帽子はきちんと水を切ってからドラム内にセットします。
 23



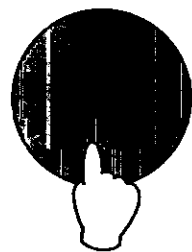
お願い

- ズック、帽子などは十分に水分を切ってからドラム内にセットしてください。
- 帽子は丸めて入れないでください。しわになる恐れがあります。

2 電源スイッチを入れる

スタート/一時停止ボタンのランプが点灯し、「標準」コース、ヒーター「強」、「ふんわりガード」の3つが自動的にセットされ、ランプが点灯します。

電源切/入



3 「ズック」コースを選ぶ

ヒーターは自動的に「弱」になります。

コース

- | | |
|-----------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 標準 | <input type="checkbox"/> セーター (120分) |
| <input type="checkbox"/> 除菌 (75℃) | <input type="checkbox"/> セーター (60分) |
| <input type="checkbox"/> 毛布 | <input checked="" type="checkbox"/> ズック |



4 スタートボタンを押す

乾き具合に関係なく約120分間運転します。
 「ズック」コースのときは運転開始時に受付音が2度鳴ります。
 (一時停止で再スタートしたときは1回鳴ります)

これっきりボタン

サッと仕上げ

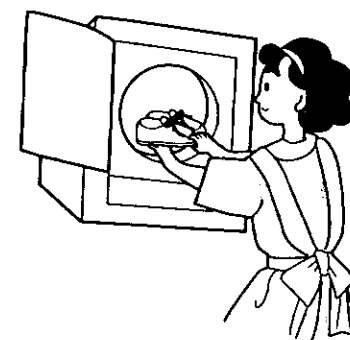


コース



乾燥が終わったら

早めに取り出してください。



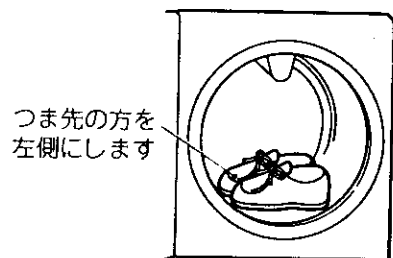
- 乾きが足りないときはもう一度運転してください。

使いかた

上手に仕上げるためのちょっとアドバイス

乾きが足りないとき

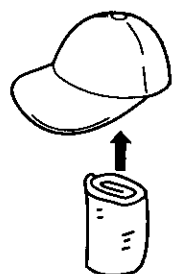
- ズックの向きを最初と反対側にして(つま先を左側に)「ズック」コースでもう一度乾かしてください。



- ぬいぐるみなども上下、左右の向きを逆にして「ズック」コースでもう一度乾かしてください。

帽子を上手に乾燥するには

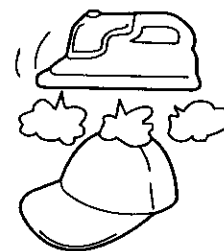
- 乾燥機に入れる前に乾いたタオルを丸めて帽子の中に入れ、帽子の形を整えてから乾燥すると形くずれが少なくなります。



乾いたタオルを丸めて帽子の中に入れる。

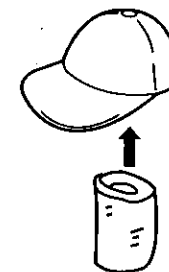
帽子の仕上げ(縮みや形くずれしてしまったときの直しかた)

スチームアイロンを軽く浮かせてスチームをかけ、形を整えます。



- スチームが手に直接当たると火傷する恐れがありますので取り扱いには十分注意してください。

スチームをたっぷりあてたあと乾いたタオルを丸めて帽子の中に入れ、帽子の形を整えます。



乾いたタオルを丸めて帽子の中に入れる。

乾燥量と時間の目安

乾燥量	衣類の種類と重さ	枚数	乾燥時間
約1.6kg	ソックス (木綿 約50g)	4足	約80分
	ブリーフ (木綿 約50g)	4枚	
	長袖アンダーシャツ(木綿 約150g)	4枚	
	ブラウス (混紡 約200g)	3枚	
約3kg	パジャマ(上下) (木綿 約500g)	2組	約120分
	ワイシャツ (混紡 約200g)	2枚	
約5kg	タオル (木綿 約50g)	6枚	約170分
	バスタオル (木綿 約300g)	3枚	
	作業着(上下) (混紡 約800g)	1組	

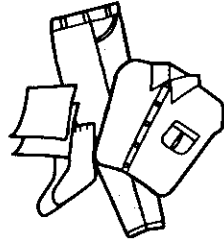
乾燥時間は洗濯物の種類、脱水のしかた、気温などで変わります。

- 上の表は、「静御前 カラッと脱水」日立全自動電気洗濯機で洗濯したものを「標準」コースで乾燥したときの目安です。(室温20℃、ヒーター「強」)
- 乾燥時間は室温が1℃下がるごとに、約1分長くなります。
- 室温が約5℃以下のときは自動的にヒーター「弱」(表示は変わらず)で運転され、乾燥時間がさらに長くなる場合があります。
- 大物(シーツなど)は、丸まったりして乾燥時間が長くなる場合があります。
- しわを少なくするためには、標準乾燥容量(5.0kg)の半分ぐらいでの乾燥をお勧めします。

ヒーター切換ボタンの使いかた

強

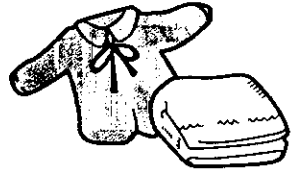
普通の衣類



• 「除菌(75℃)」コースのときは自動的にヒーターが「強」になります。

弱

毛布、肌掛ふとんやデリケートな化せんの薄物など



• 「毛布」、「セーター(120分)」「セーター(60分)」「ズック」コースのときは自動的にヒーターが「弱」になります。

衣類の縮みについて

衣類は水につけたり、洗濯して乾かすだけで縮むものがありますが、乾燥機を使用するとさらに縮みが大きくなるものもあります。

- 縮みの程度は1回目の洗濯・乾燥でほぼ決まります。

縮みやすいもの

サマーセーター 運動用ソックス



綿や麻のニット製品など

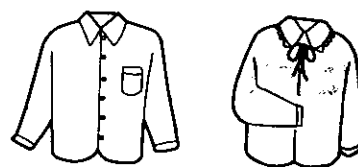
- 縮みの程度は生地の種類や織りかた、縫製、仕上げなどによっても異なります。

- 縮みやすい衣類の例

・ウールや綿のセーターでリブ編みのもの

縮みにくいもの

ワイシャツ ブラウス



綿、混紡などの織物

ポリエステル製品など

縮みについての上手な対応

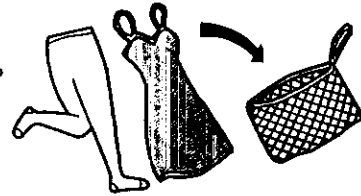
- 乾燥前に衣類の絵表示・材質表示をよく確認します。
- 天日乾燥を上手に併用します。(例えば、天日乾燥したものの仕上げに乾燥機を使うなど)
- 「セーター(120分)」「セーター(60分)」コース 18 を利用します。
- 縮みやすいものについては、できればあらかじめひと回り大きめの衣類のご購入をお勧めします。

上手な乾燥のしかた

布傷みや布がらみを少なくするには

薄物、傷み・からみやすいものはネットに入れる

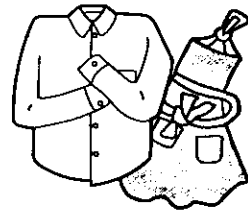
また、ひものついて
いるブラジャーなど
もネットに入れます。



●布傷みや引っ掛かりを防ぎます。

ファスナー・ボタンなどは、閉じて裏返す

エプロンなど、ひもの付いているものは結びます。またワイシャツなどは、そでのボタンを身ごろのボタン穴に止めます。

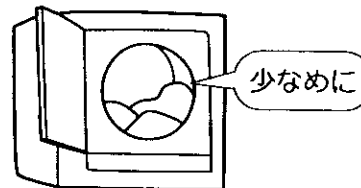


●布傷み・布がらみ・たたき音が少なくなります。

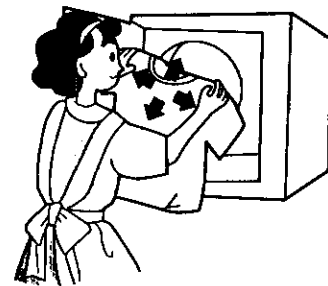
しわを少なくするには

洗濯物は少なめで乾燥させる

標準乾燥容量(5.0kg)の
半分くらいにすると、し
わが少なくなります。

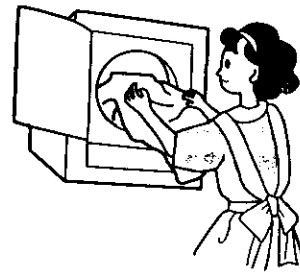


1枚ずつよく広げてから入れる



乾燥が終わったら早めに取り出す

運転終了ブザーが鳴ったら、できるだけ早めに取り出します。



「ふんわりガード」運転中にドアを開けると、運転は終了します。

衣類の毛玉や静電気を少なくするには

毛玉の気になるものは裏返しにする

裏返して



静電気防止用シートなどを使う

洗濯時に市販のソフト仕上剤、または乾燥時に市販の静電気防止用シートをご使用ください。



ソフト仕上剤



静電気防止用シート

電気代を節約するには

乾燥の前に脱水を十分に行う

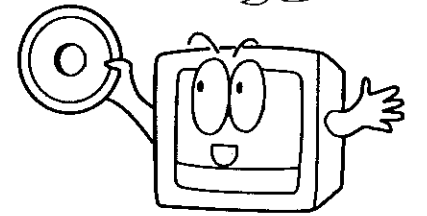


●乾燥時間が短くなり、経済的です。
●高速回転脱水の洗濯機と組み合わせてお使いになると、より経済的です。

糸くずフィルターを毎回掃除する

フィルターが詰まっていると、運転時間が長くなります。ご使用前には、毎回掃除しましょう。

毎回おそうじ
忘れないで!!



天日や室内で干したあとに「サッと仕上げ」コースで運転する

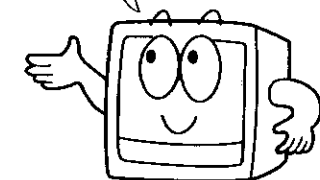
🏠 12

衣類をふんわり仕上げ、電気代も節約できます。

これっきりボタン

サッと仕上げ

コース



乾きむらを少なくするには

生地によって分けて乾燥する

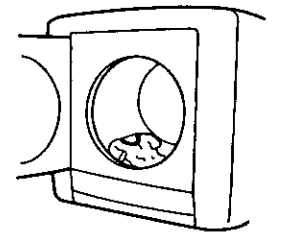
化せんと木綿、薄物と厚物などは、分けて乾燥させます。



分けて

●乾きむらが少なくなり、再乾燥によるむだが省けます。乾きが足りないときは、「サッと仕上げ」コースでもう一度乾燥させます。
●混合して乾燥する場合は少なめにして乾燥してください。

洗濯物が極端に少ないとき
(約500g以下)

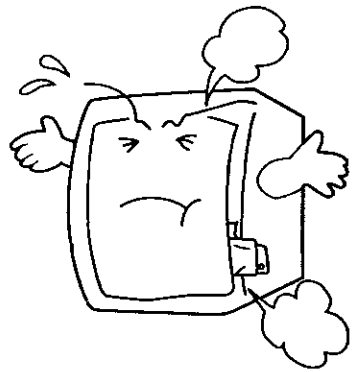


●洗濯物が極端に少ないときは乾きが足りないことがあります。乾いたタオルなどをいっしょに入れると乾きむらが少なくなります。
●乾きが足りないときは、「サッと仕上げ」コースでもう一度乾燥します。

使いかた

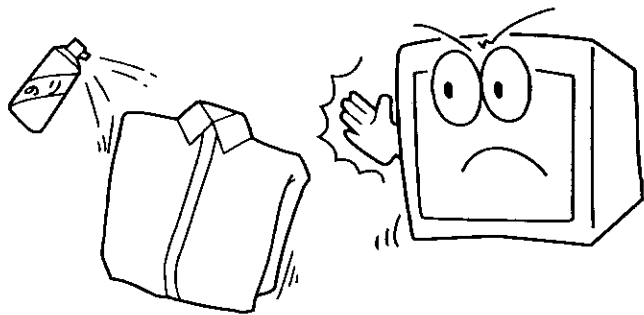
使用上のご注意

洗濯物を入れすぎない



- 乾燥時間が長くなったり、乾きむらになることがあります。

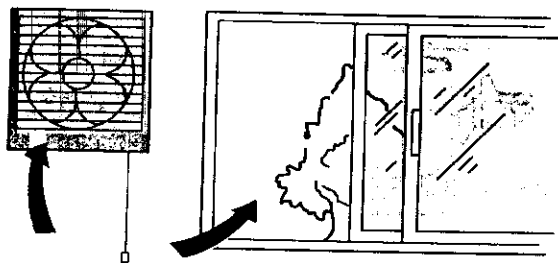
のり付けした衣類は乾燥しない



- 洗濯時にのり付けした衣類も乾燥しないでください。
- 糸くずフィルターの目詰まりの原因になります。

運転中の換気は十分に

衣類を効率よく乾燥させるために換気を十分にしてください。



- 換気が不十分な場合は、温度差によって窓や壁などが結露する場合があります。

漂白剤などを使用したとき

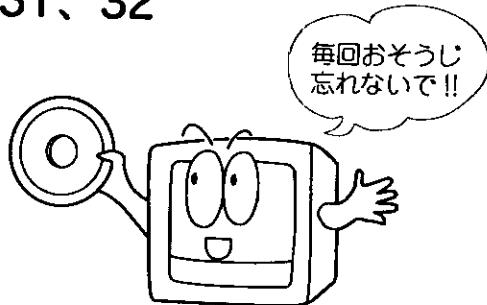
洗濯時、漂白剤や次亜塩素酸ナトリウムなどの薬剤をご使用になったときは、十分に臭いが残らない程度にすすいでから乾燥してください。



- 洗濯物に漂白剤などが残っているまま乾燥すると、本体の寿命を縮めます。

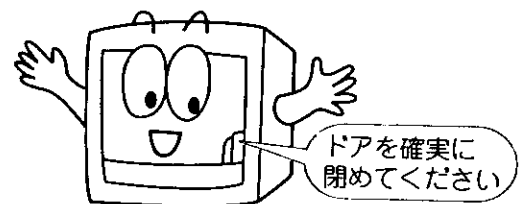
糸くずフィルターは毎回掃除する

➡ 31、32



- 糸くずフィルターが目詰まりすると、故障の原因になります。

ドアを確実に閉めてから運転する

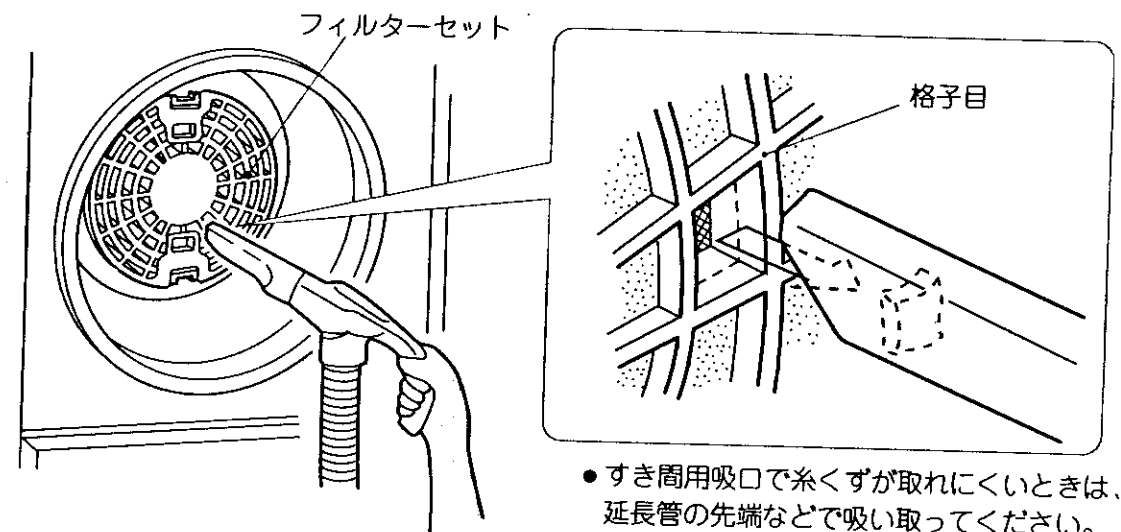


- ドアが確実に閉まっていないと、衣類が飛び出したり、ドラム内の湿気が漏れて、ドアの裏面や周囲などに結露し、しずくがたれる場合があります。

お手入れのしかた

糸くずフィルター(簡単なお掃除) ご使用後は必ずお掃除してください。

- フィルターセットの格子目にたまった糸くずを、掃除機で吸い取ってください。
- フィルターセットをドラム内に取り付けたままでも、取り外してもお掃除できます。



- すき間用吸口で糸くずが取れにくいときは、延長管の先端などで吸い取ってください。

- 1か月(約30回)ごとにフィルターセットを取り外して、念入りにお掃除してください。目詰まりしたまま使用すると、機体内部の温度が通常より高くなり、故障したり、機体内部にほこりがたまり、修理や掃除が必要になります。また、乾燥時間も長くなります。

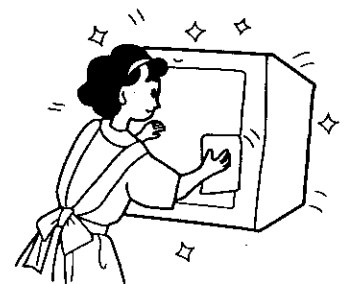
本体

- 開棚時、プラスチック部品にほこりがついていますが、倉庫保管時についたものです。柔らかい布でふき取ってください。また、使用中についた汚れも柔らかい布でふき取ってください。



- 注意**
- 本体やドラムに水をかけたり、水洗いをしない。
 - 感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります。

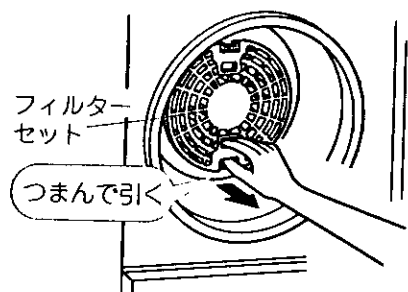
- 吸気口、排気口にごみが詰まったときは、掃除機などで吸い取ってください。
- ベンジン、シンナー、クレンザー、ワックス、弱アルカリ性洗剤などでふいたり、たわしでこすったりしないでください。塗装やプラスチック部品を傷めます。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。



お手入れのしかた(続き)

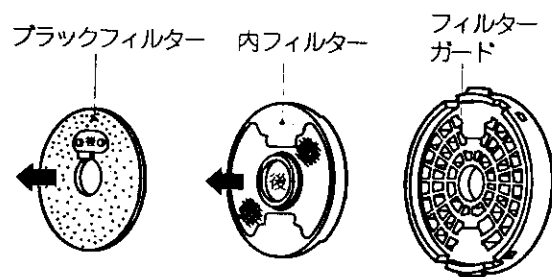
糸くずフィルター(念入りなお掃除) 1か月(約30回)ごとに必ず念入りにお掃除してご使用ください。

1 フィルターセットを外す。



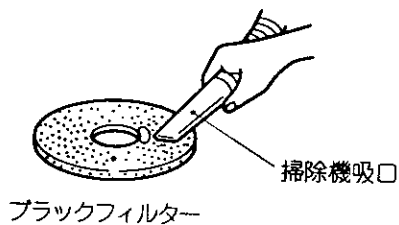
2 フィルターガードと、フィルターを分離する。

- 内フィルターとバックフィルターを外し、糸くずを捨てます。

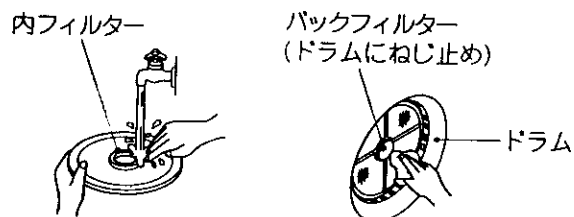


3 フィルターを掃除する。

- フィルターに付いた糸くずを掃除機で吸い取ります。



内フィルター、バックフィルターが、粉状のほこりで目詰まりしているとき

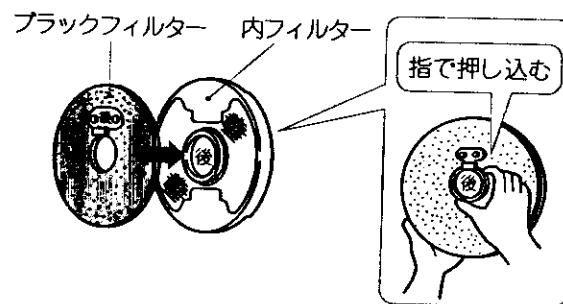


- 水道の水を流しながら、柔らかいブラシで表面をかるくこすって乾かします。
- 水を湿らせた柔らかい布でふきます。

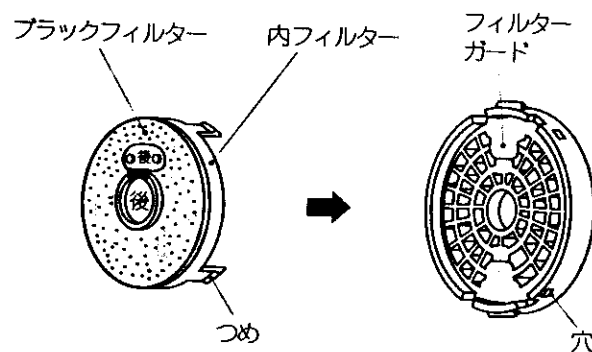
- フィルターガードの汚れが目立ってきたら、水洗いしてください。

4 元どおりに取り付ける。

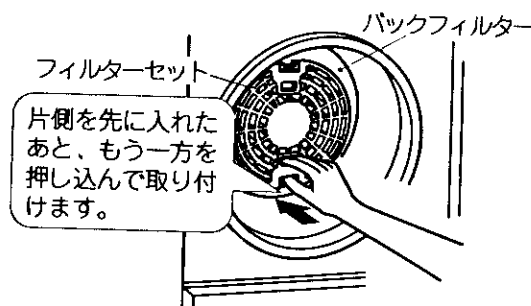
- まずバックフィルターを内フィルターへ、「後」の文字が見えるように取り付けます。



- バックフィルターを取り付けた内フィルターのつめ(4か所)を、フィルターガードの穴(4か所)に合わせて取り付けます。



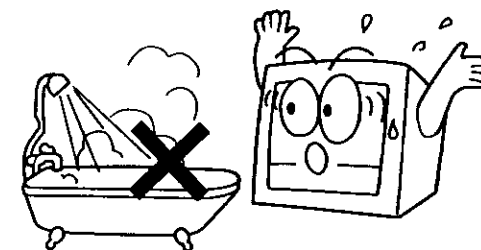
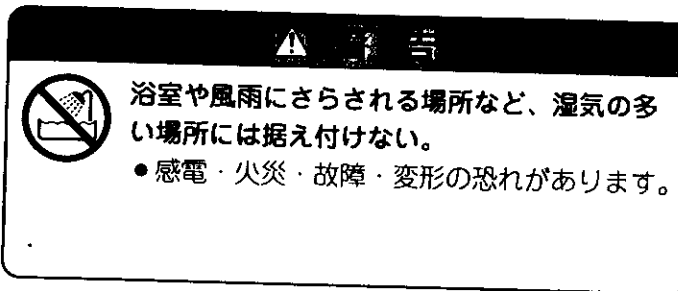
- フィルターセットをバックフィルターに取り付けます。



- フィルターは必ず元に戻してください。
- 目詰まりしたまま使用すると、機体内部の温度が通常より高くなり、故障したり、機体内部にほこりがたまり、修理や掃除が必要になります。また乾燥時間も長くなります。

据え付け

据え付け場所と換気



- 直射日光が当たる場所、40℃以上になる場所、発熱器具のそばには据え付けしないでください。

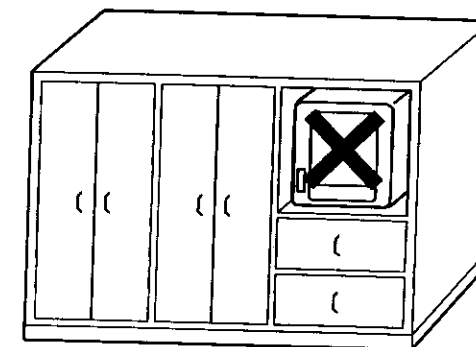
- 本体内部の温度が異常に高くなったり変形したりします。

- 有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)を扱う場所では使用しないでください。

- 引火したりプラスチック部品が故障する恐れがあります。

- クローゼット(密閉した収納庫など)では使用しないでください。

- 温風で収納庫内の温度が上昇し、本体の温度が異常に高くなり、変形などの故障の原因になります。



- 使用中は、近くの窓を開けるか、換気扇を回すなどをして換気をよくしてください。

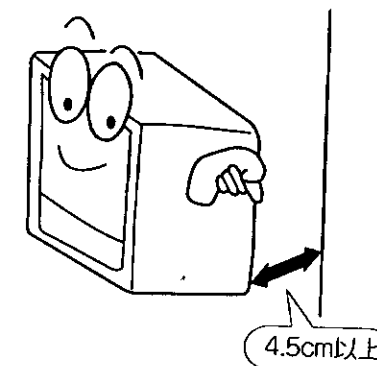
- 除湿タイプですので湿気はあまり出ませんが、狭い部屋の場合などは湿度が上昇することがあります。また温風で室温が上昇します。

- 本体は壁などからできるだけ離して設置してください。

壁や天井から両側面、背面、上面は4.5cm以上、下面は10cm以上できるだけ大きく離してください。

また上記空間を確保してもクローゼットなどでうめ込んでの使用はしないでください。

- 除湿性能が悪くなったり、故障の原因になります。



使用上の注意・お手入れ・アフターサービス

据え付け(続き)

電源(コンセント)について

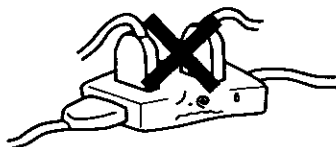
警告

- ⚠ 定格15A以上のコンセントを単独で使う。
 - 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

注意

- ⚠ 定格100V以外では使用しない。
 - 火災・感電の原因となります。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
 - 感電・ショート・発火の原因になります。

- テーブルタップによるタコ足配線は絶対にしないでください。コードや配線器具の過熱の恐れがあります。
- 延長コードは使用しないでください。過熱の恐れがあります。
- コンセントの差し込みがゆるいときは、販売店または電気工事店にご相談のうえ、電気工事をしてください。



アース線の取り付け

警告

- ⚠ アース線は必ず取り付ける。
 - アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。アースの取り付けは、必ず電気工事店または販売店にご相談ください。

アース端子がある場合

アース線をアース端子に確実に取り付けてください。

アース端子がない場合

アース工事をしてください。

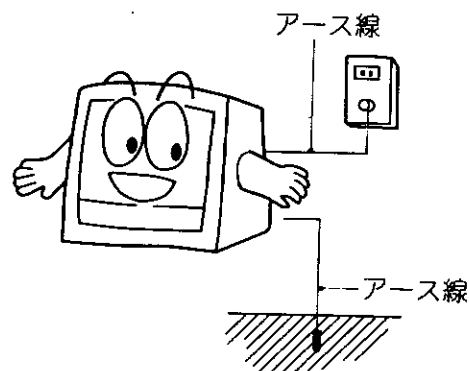
- アースのほか漏電遮断器の取り付けをお勧めします。据え付け、ご使用状況によっては、漏電遮断器の設置が義務づけられています。

〔工事される方へ〕

アース線、漏電遮断器の取り付けは、電気設備技術基準および内線規定に従ってください。
(アースは第3種接地工事が必要です)

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

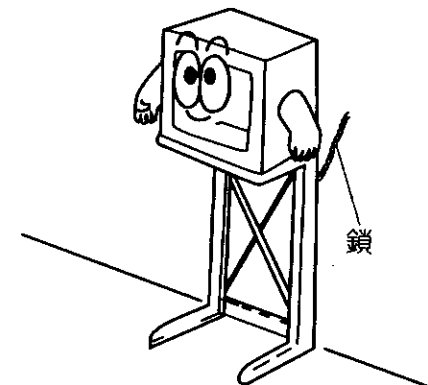
- ガス管、電話線、避雷針
- 水道管は途中から塩ビ管になっている場合がありますので避けてください。
- アースの取り付け、取り外しは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



据え付けかた 別売りのスタンドまたは壁掛金具を使用します。

■スタンドに取り付ける場合

- 1 後方に倒れないように、必ず壁のすぐ前に設置し、スタンドを付属の鎖で壁などにつなぐ。
- 2 本体をスタンドに載せたあと、スタンドに付属しているねじで固定する。
(詳しくは、スタンドの組立説明書をご覧ください)



のびのびスタンド(DES-K1形など)への設置について

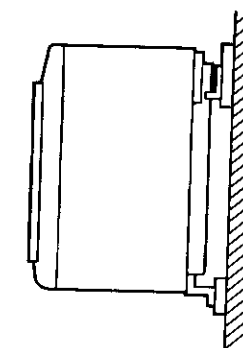
のびのびスタンド(DES-K1形など)へ設置する場合、スタンドの上棚の奥行は刻印4としてください。
上棚の奥行の調節のしかたは、スタンドの組立説明書をご覧ください。

注意

- ⚠ スタンド(ユニット台)に載せて使用の際は、壁のすぐ前に設置し、鎖(スタンド台に付属)にて壁や柱につないで、乾燥機本体はスタンド(ユニット台)にねじで固定する。また、据え付けた乾燥機にぶら下がらない。
 - 本体の落下によりけがをすることがあります。

■壁に取り付ける場合

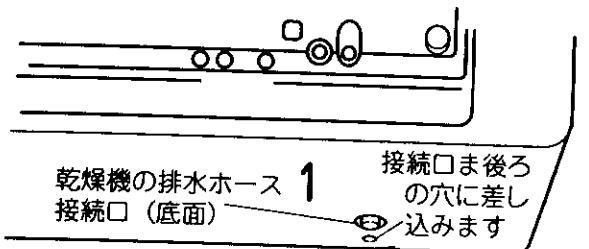
- 1 壁掛金具DEW-6を使用する。
- 2 壁が100kg以上の重量に耐えることを確認する。
(詳しくは、壁掛金具の取り付け用説明書をご覧ください)



据え付け(続き)

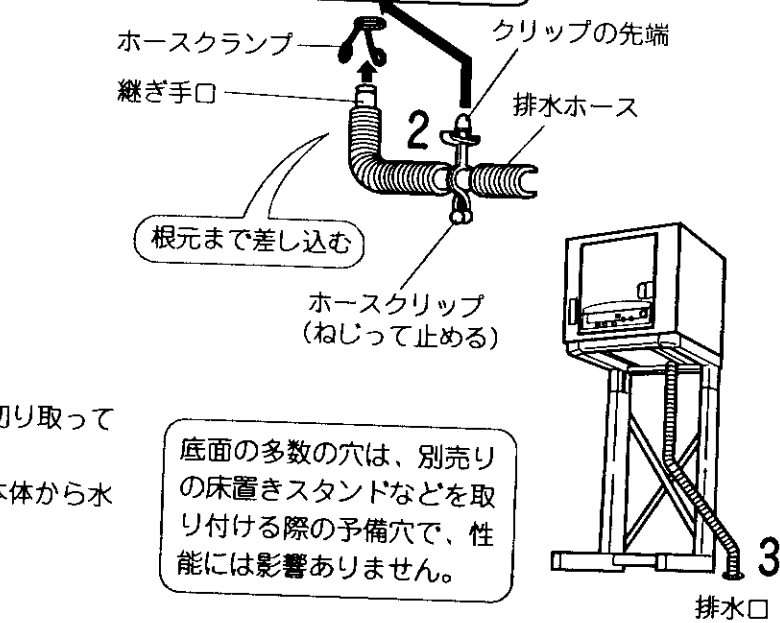
排水ホースの取り付けかた

1 排水ホースの継ぎ手部を、乾燥機の排水ホース接続口の根元まで差し込み、ホースクランプで固定する。



2 ホースクリップで排水ホースをはさみ、クリップの先端を本体の穴に差し込む。

- のびのびスタンドDES-K1に据え付けるときはホースクリップを使用しません。



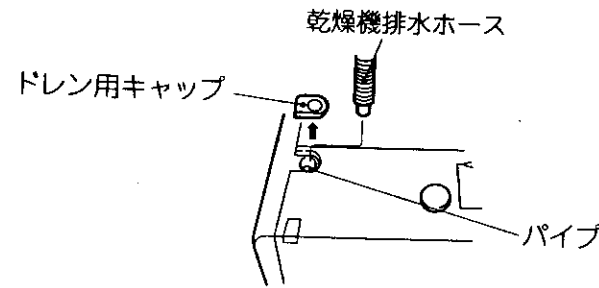
底面の多数の穴は、別売りの床置きスタンドなどを取り付ける際の予備穴で、性能には影響ありません。

3 排水ホースを排水口に差し込む。

- 排水ホースが長いときは、先端部を切り取ってたるまないようにします。途中にたるみがあると排水できず、本体から水漏れすることがあります。

洗濯機に排水ホースを接続する場合

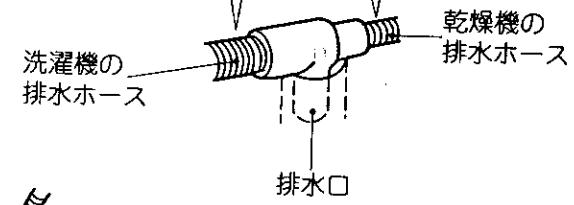
洗濯機に直接排水ホースが接続できるものもありますので、洗濯機の取扱説明書をご覧ください。



排水口に洗濯機の排水ホースとともに接続する場合

別売りのL形排水継ぎ手をご使用ください。

1つの排水口に洗濯機の排水ホースとともに接続します。

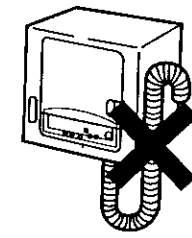


排水口がない場合

バケツなどに排水してください。
5.0kgの洗濯物(生地:木綿)を乾燥した場合、排水量は約2.5L(リットル)です。



- 排水ホースは必ず乾燥機の底面より低い位置に設置してください。凍結や機体内部の水漏れを防ぐためです。



故障かなと思ったら

修理を依頼される前に

- 異常が生じたときや異常運転報知があったときは、修理を依頼される前に次の点検をしてください。

症状	点検するところ
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか。 ● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ● 電源スイッチが「切」になっていませんか。 ● スタートボタンを押しましたか。 ● ドアは確実に閉まっていますか。
乾燥時間が長い 乾かないで止まってしまう または異常運転報知をする	<ul style="list-style-type: none"> ● 糸くずフィルターが目詰まりしていませんか。 ● 洗濯物の脱水をよくしましたか。 ● 衣類がからんでいませんか。(洗濯でからんだ衣類をほくして入れてください) ● 洗濯物が多すぎませんか。 ● 運転中に洗濯物を追加していませんか。 ● 洗濯物が多いのに「ヒーター」が「弱」になっていませんか。 ● 室温が低くありませんか。(約5℃以下)(室温が低い場合、ヒーター「弱」で運転することがあります) ● 乾燥途中で10分以上停止していませんか(異常報知運転をしてこれっきりボタンの右のランプが点滅した場合)

異常運転報知

コースのランプおよびこれっきりボタンのいずれか一方のランプが点滅してブザーが15秒間鳴ります。

- 標準 セーター (120分) □
- 除菌(75℃) セーター 仕上げ コース
- 毛布 スック

■故障報知：次のような場合は故障です。お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
電源スイッチを入れても、ブザーが3秒間鳴って自動的に切れてしまうとき。
動作中にランプが点滅し、ブザーが15秒間鳴って、電源スイッチが自動的に切れたとき。(60分間ランプが点滅して電源スイッチが切れるときもあります)
● ヒーターの「強」、「弱」のランプとこれっきりボタンのいずれか一方のランプが点滅
● ヒーターの「強」、「弱」と「標準」のランプが点滅

こんなときは故障ではありません

症状	原因
● 運転終了後フィルターの掃除をしたのに電源スイッチを押したらフィルター目詰まりサインのランプが点滅しブザーが鳴る。	● フィルターが目詰まりしたときは、電源スイッチを押したとき再度報知するようになっています。フィルターが目詰まりしていないか再度確認してください。
● ヒーター切換ボタンを押してもランプが切り換わらない。	● コースが「除菌(75℃)」、「毛布」、「セーター(120分)」、「セーター(60分)」、「スック」になっていませんか。このときはヒーターはいずれか一方に自動的に設定されます。
● 一時停止してヒーター切換ボタンまたはコース切換ボタンを押しても変更できない。	● 運転をスタートすると変更できません。変更するときは一度電源スイッチを切ってから運転し直してください。
● ドアの内側に水滴が付く。	● 衣類の水分が蒸発し付着したためです。

使用上の注意・お手入れアフターサービス

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのおと、大切に保存してください。

保証期間
お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの衣類乾燥機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年保有しています。

補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

転居される時

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても部品の交換は不要です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙(黄色用紙)「ご相談窓口一覧表」の窓口にお問い合わせください。

修理を依頼される時は

37ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	衣類乾燥機
形名	DE-N5S3
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器など設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

出張修理

安全のための点検のお願い

愛情点検



★長年ご使用の衣類乾燥機の点検を!

- ご使用の際、このような症状はありませんか?
- 電源プラグが変形したり、電源コードに“ひび割れ”や“傷”がある。
 - 電源コード、プラグが異常に熱い。
 - さわるとビリビリと電気を感じる。
 - 乾燥時間が異常に長くなった。
 - 運転中に異常な音や振動がする。
 - スイッチを入れても時々運転しないことがある。
 - 焦げ臭い“におい”がする。
 - ドラム内がさびている(白さびなど)。
 - 据え付けが傾いたり、グラグラしている。
 - 水漏れがする。
 - その他の異常があるとき。

ご使用中

このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

●上記の症状や異常がない場合でも2~3年お使用の衣類乾燥機は、安全のため点検をご依頼ください。

一般家庭用以外でご使用になるとき

理容院や美容院などでタオルなどの乾燥に、また、寮や病院などで共同でご使用になり、一日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合には、短時間で部品の交換(軸受、ベルト、プーリー、フィルターなど)が必要になることがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検を受けてお使用になることをお勧めします。

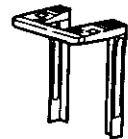
●このようなご使用は、保証期間の対象外となります。

別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。価格には消費税は含まれておりません。(価格は平成9年9月現在)

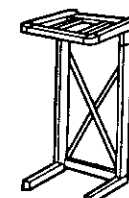
■ぴったりスタンド DES-P31

洗濯機の背面に直接取り付けます。



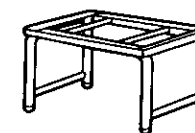
標準価格 8,000円(税別)

■のびのびスタンド DES-K1



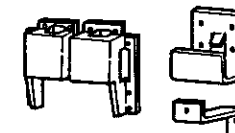
標準価格 13,000円(税別)

■床置き用スタンド DES-9



標準価格 6,000円(税別)

■壁掛金具 DEW-6



標準価格 1,850円(税別)

■静電フィルター DE-F1

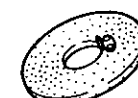
微細なほこりや花粉を捕集します。



標準価格 1,700円(税別)

■ブラックフィルター DE-N45K1-050

本体に付属のものが破損したときご利用ください。



標準価格 500円(税別)

■L形排水継ぎ手 PF-2300-069

1つの排水口に洗濯機の排水ホースとともに接続します。



標準価格 600円(税別)

使用上の注意・お手入れアフターサービス